

リアスハーバー宮古の概要について

1 設置目的

「リアスハーバー宮古」は、海洋性レクリエーション需要の増大に対応し、ヨット競技の普及に寄与するため、クラブハウスを持つ本県初の本格的ヨットハーバーとして平成7年度に着工し、平成11年4月に竣工した。

平成11年度に開催されたインターハイヨット会場として利用されている。

平成11年4月1日から使用料の収納及び施設管理を宮古市に委託していたが、一層のサービスの向上と経費の削減を目的として、平成18年4月1日からは指定管理者制度を導入し、NPOいわてマリフィールドに管理委託をしていた。

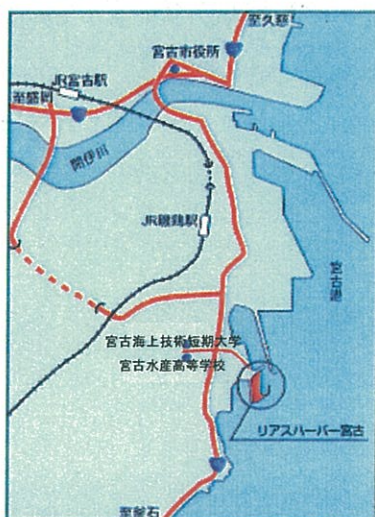
平成23年3月発生の東日本大震災津波により施設が被災し、使用不能となったため災害復旧工事を施工し、平成26年5月に施設を再開した。平成26年度については県が管理を行い、平成27年度から指定管理を再開した。現在の指定管理についてはNPOいわてマリフィールドが行っている。

(参考：現在の管理代行料 年 6,917 千円×3年間=20,751 千円)

2 施設概要

- ・面積：水域 約 13,200 m²、陸域 約 12,400 m²
管理棟 1 棟 309.0 m² 艇庫 1 棟 416.0 m² ボートヤード 5,300 m²
- ・対象船種：ディンギーヨット
- ・収容隻数：150 隻 (艇庫 75 隻、ボートヤード 75 隻) 係留桟橋：30 隻

【リアスハーバー宮古の位置】



【リアスハーバー宮古の全景】



【施設写真】



一時系留桟橋 2基
単桟橋 (15隻/基) 30隻

【ディンギーヨットの概念図】



ディンギーヨットとは、キャビン（船室）を持たない船長4m程度の小形ヨット。

【休所日及び利用時間】

県規則	
休所日	<ul style="list-style-type: none"> 毎週月曜日（祝日に当たるときはその翌日） 12月29日～翌年1月3日
利用時間	① 4月～9月（日曜、祝日除く） 9:00～19:00 ② 10月～3月、日曜・祝日（通年） 9:00～17:00

※県規則の規定では、指定管理者が必要と認めるときは利用時間、休所日を臨時に変更できることとなっている。

【リアスハーバー宮古の利用料金】

艇庫	一般	1月	6,380円	1日	324円
	学生生徒		3,190円		162円
艇置場	一般	1月	3,140円	1日	152円
	学生生徒		1,570円		76円
港湾管理事務所 （研修室）	一般	1時間	864円		
	学生生徒		432円		